

2014年度第1四半期 IR決算説明資料

2014年7月31日

日本テレビホールディングス株式会社

**本説明会及び資料の内容には、
将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績は、
さまざまな状況変化や要因により、
これらの見通しと
大きく異なる結果となり得ることがあり、
何らの保証やコミットメントを
与えるものではありません。ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。**

連結 売上高・利益

(百万円)

	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期	増減率 (%)
売上高	80,671	85,096	5.5
営業利益	10,810	8,561	△20.8
経常利益	12,882	10,703	△16.9
当期純利益	7,381	6,492	△12.0

日本テレビ放送網(単体) 売上高・利益

(百万円)

	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期	増減率 (%)
売上高	68,258	70,741	3.6
営業利益	8,657	7,826	△9.6
経常利益	9,910	9,030	△8.9
当期純利益	5,595	5,680	1.5

テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期	比較	増減率 (%)
放送収入	55,954	58,840	2,885	5.2
タイム	26,889	28,023	1,134	4.2
スポット	29,065	30,816	1,751	6.0

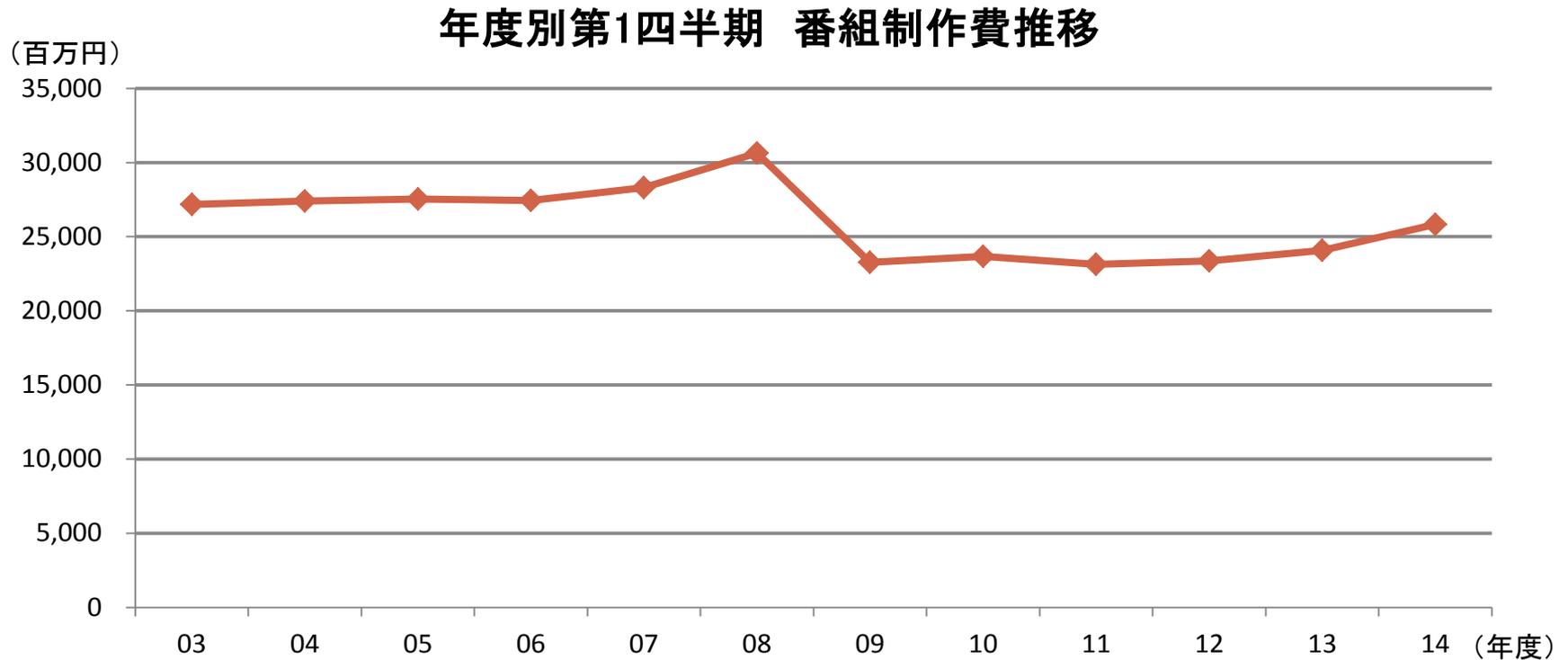
タイム	2013年度	2014年度
4月	△2.7%	2.4
5月	3.2%	0.3
6月	2.2%	10.0

スポット	2013年度	2014年度
4月	△4.8%	△1.0
5月	△2.5%	15.1
6月	6.6%	5.0

番組制作費 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期	比較	増減率(%)
24,079	25,825	1,746	7.3

(百万円)



主な事業収支の概況 - 日本テレビ放送網 -

(百万円)

第1四半期		収入	費用	収支
映画事業	昨年	1,777	1,379	398
	当期	1,591	1,575	16
通販事業	昨年	2,162	2,065	98
	当期	2,090	1,975	115
イベント事業	昨年	1,537	1,187	350
	当期	998	1,003	△5

主なグループ各社の状況

(百万円:未満切捨)

2014年度 第1四半期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)
BS日本	3,629	7.6	513	△5.5	531	△4.4	322	△31.4
シーエス日本	1,365	8.4	107	83.4	113	80.0	42	10.5
日テレ・テクニカル・リソース*	2,464	1.4	33	△22.5	43	△16.9	27	△12.1
日テレ アックスオン	5,138	7.3	344	3.5	352	4.4	220	13.7
日テレイパッツ	526	0.7	7	△39.1	9	△33.1	5	△32.0
日本テレビアート	1,950	3.6	103	△1.7	109	△2.5	69	1.2
日本テレビ音楽	2,632	12.7	357	7.1	399	6.3	265	12.4
ハップ°	3,483	△25.5	△622	—	△581	—	△366	—
日本テレビサービス	1,004	△11.9	59	△29.1	69	△25.4	44	△22.6
日本テレビワーク24	967	4.6	22	27.5	23	27.9	12	32.6
フォアキャスト・コミュニケーションズ*	767	△0.7	13	△59.3	18	△40.5	7	△61.4
日テレ7	1,391	45.7	102	81.2	105	85.0	67	94.1

業績予想と前提

2014年度連結業績予想

(百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期	前回発表	171,200	13,100	15,700	9,400
	今回発表	170,000	14,700	17,600	10,700
通期	前回発表	353,400	35,300	40,000	24,800
	今回発表	352,100	38,200	43,300	26,800

地上波テレビ広告収入と制作費 予想の前提(前年同期比)

	上期予想		下期予想		通期予想	
	前回発表	今回発表	前回発表	今回発表	前回発表	今回発表
テレビ広告収入	0.4%	4.2%	△2.0%	△1.5%	△0.9%	1.2%
タイム	1.4%	2.5%	△4.0%	△4.0%	△1.4%	△0.9%
スポット	△0.7%	5.9%	0.0%	1.0%	△0.3%	3.3%
制作費	4.1%	3.9%	△7.4%	△7.2%	△1.7%	△1.7%

好調な視聴率

☆2014年「年間」「年度」視聴率三冠王で推移！

- ・昨年12月から6月まで7か月連続で月間三冠王獲得。
- ・1月クール、4月クールと連続で三冠王獲得。
- ・世帯視聴率と個人視聴率の両立。
→引き続きクライアントニーズの高い視聴者層の獲得。
- ・4月の月間三冠王は系列11局同時に達成

☆改編成果を実感

- ・平日ベルト番組の好調維持
- ・水曜ドラマ「花咲舞が黙ってない」高視聴率(平均16.0%)
- ・プラチナイト枠の視聴率増加

* 4月クール平均視聴率(世帯視聴率:ビデオリサーチ調べ)

「月曜から夜ふかし」9.1%(+1.9%)、「今夜くらべてみました」5.8%(+0.7%)

「ナカイの窓」5.8%(+1.1%)

2014年「年間」視聴率

期間:2013/12/30～2014/07/27

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.3	7.3	5.9	3.2	6.9	+1.0
	(+0.4)	(Δ0.6)	(Δ0.6)	(+0.3)	(±0.0)	(±0.0)
プライム	① 12.3	11.4	9.5	7.0	10.2	+0.9
	(+0.6)	(Δ1.0)	(Δ0.4)	(+0.5)	(Δ0.6)	(Δ0.7)
ゴールデン	① 12.4	10.8	9.6	7.5	10.0	+1.6
	(+0.6)	(Δ1.3)	(Δ0.4)	(+0.6)	(Δ0.6)	(Δ0.3)

* 世帯視聴率・ビデオリサーチ調べ

2014年「年度」視聴率

期間:2014/03/31～2014/07/27

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.2	7.0	5.7	3.1	6.6	+1.2
	(+0.5)	(Δ0.7)	(Δ0.5)	(+0.3)	(Δ0.3)	(±0.0)
プライム	① 12.1	10.7	9.4	6.8	9.8	+1.4
	(+0.8)	(Δ1.2)	(Δ0.1)	(+0.3)	(Δ1.2)	(Δ0.6)
ゴールデン	① 12.1	10.1	9.5	7.2	9.7	+2.0
	(+0.7)	(Δ1.4)	(Δ0.1)	(+0.3)	(Δ1.0)	(Δ0.1)

* 世帯視聴率・ビデオリサーチ調べ

2014年「年間」視聴率上昇

期間:2013/12/30～2014/07/27

	全日	プライム	ゴールデン	ノンプライム	プラチナ
	6時～24時	19時～23時	19時～22時	全日-プライム	23時～25時
日テレ	①8.3%	①12.3%	①12.4%	①7.2%	②6.8%
前年同期比	+0.4%	+0.6%	+0.6%	+0.3%	+0.8%

* 世帯視聴率・ビデオリサーチ調べ

2014年度 10月改編について

☆10月改編方針

好調視聴率を維持し、年間、年度三冠獲得に向け、レギュラー番組強化を軸にした編成戦略。

◎レギュラー編成を大切にした番組強化・育成
→水曜19時「トリックハンター」に改編

*7月24日(水)からスタート(10月改編前倒し)

- ◎ドラマ、大型単発の強化、次世代ソフト開発に注力
- ◎朝4時から夜7時まで生放送番組の好調でフロー強化
- ◎日曜早朝の視聴フローの改善
- ◎コア、F1、F2を中心にした世帯視聴率の獲得



次頁から
補足資料です

営業収入 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期
放 送 収 入	55,954	58,840
タ イ ム	26,889	28,023
ス ポ ッ ト	29,065	30,816
番 組 販 売 収 入	2,740	2,666
事 業 収 入	8,883	8,560
不 動 産 賃 貸 収 入	680	674
合 計	68,258	70,741

営業費用 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期
番組制作費	24,079	25,825
支払電波料	7,055	7,248
代理店手数料	9,426	9,976
人件費	4,883	5,364
減価償却費	1,424	1,602
事業費	6,881	6,871
諸経費	5,850	6,026
合計	59,600	62,915

スポット業種別売上シェア -地上波(日本テレビ放送網)-

2013年度 第1四半期		シェア	増減率 (%)	2014年度 第1四半期		シェア	増減率 (%)
1	化粧品・トイレタリー	13.8	8.9	化粧品・トイレタリー	15.3	17.4	
2	非アルコール飲料	9.4	32.5	運輸・通信	10.9	48.8	
3	運輸・通信	7.8	△5.1	非アルコール飲料	7.7	△13.5	
4	電気機器	7.3	24.0	サービス	7.4	70.0	
5	輸送機器	7.0	△21.0	薬品	6.7	24.8	
6	金融・保険業	5.9	45.1	輸送機器	5.7	△13.6	
7	薬品	5.7	△19.5	金融・保険業	5.6	1.9	
8	アルコール飲料	4.9	△4.5	電気機器	4.8	△29.3	
9	サービス	4.6	12.7	アルコール飲料	4.8	5.3	
10	食品〈乳製品調味料〉	4.5	5.3	映画・演劇興行	4.6	34.2	

* 増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

日本テレビ放送網事業収支

2014年度 第1四半期 事業種別収支

(百万円)

	収入	費用
有料放送	2,166	952
ライツ	483	306
通販	2,090	1,975
映画	1,591	1,575
イベント	998	1,003
海外ビジネス	300	104
その他	932	956
合計	8,560	6,871

設備投資と減価償却（連結）

（億円）

2014年度第1四半期	設備投資額	減価償却費
連結	52	18

連結予想	設備投資額	減価償却費
2014年度	177	78
2015年度	197	75
2016年度	118	88

* 予想数値は内部管理の数値です。今回予想の変更はありません。

セグメント別 実績

(百万円)

2014年度 第1四半期	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ ビジネス事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高	83,842	2,532	86,375	1,004	87,379	△2,282	85,096
セグメント利益	7,646	1,001	8,647	59	8,707	△146	8,561

事業区分	主な事業内容
コンテンツビジネス事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

2014年度 映画事業 今後の主なラインナップ

作品名		配給	備考
7/19	「思い出のマーニー」	東宝	2010年邦画No.1ヒット作品「借りぐらしのアリエッティ」のスタジオジブリ米林宏昌監督作品。12歳の小さな身体に大きな苦しみを抱えて生きる杏奈と、その前に現れる謎の少女マーニーの物語。
8/16	「ホットロード」 ★	松竹	悩みと孤独を抱えながら生きる少女とバイクに命をかける少年、2人の姿を描いた伝説的漫画の実写映画化。 「あまちゃん」の能年玲奈、登坂広臣、映画初主演!!
11/8	「トワイライト ささらさや」 ★	ワーナー ブラザーズ	突然の事故で夫を失った さや。しかし奇妙な事件が起きる度、亡き夫が他人の姿を借りて助けに来てくれる。 出演は新垣結衣、大泉洋。この秋一番笑って泣ける感動作。
11/29	「寄生獣」(PART 1) ★	東宝	ハリウッドが映画化を熱望した伝説のコミックが、遂に実写化。 2014-5年のお正月映画&GWの2部作で公開! 出演は、染谷将太、深津絵里、橋本愛 他。
2015年	「ジョーカーゲーム」 ★	東宝	数々のエンタテインメント文学賞を総なめにしたスパイアクションの映画化。架空の第二次大戦中、異能の天才スパイが繰り広げる決死の頭脳戦。 出演は、亀梨和也、伊勢谷友介、深田恭子 他。

★日本テレビ幹事作品

2014年度 直近の主なイベント予定

期間	イベント名	内容
7/9～10/20	「オルセー美術館展」 印象派の誕生～描くことの自由～	(国立新美術館) 印象派の殿堂、オルセー美術館から選りすぐりの名画が集結。 マネ、モネ、ルノアール、ドガ、セザンヌなど印象派の画家たちの作品を中心に、オルセー美術館の「顔」となる名画が集結。
8/9～8/17	「トランスフォーマー博」	(パシフィコ横浜 展示ホールB・C) 日本で生まれ、ハリウッドが惚れ込んだ 日本初！世界最大級の「変形(トランスフォーマー)」 空間体験イベント！
10/31～11/17	「里見八犬伝」	(新国立劇場 中劇場) 深作健太演出による、新解釈を加えたスペクタクル時代劇。 キャストを一新して2年ぶりの再演。平成版「新八犬伝」が、 さらにダイナミックに生まれ変わる。
2/21～6/1	「ルーブル美術館展」 日常を描く ー風俗画にみる ヨーロッパ絵画の真髄ー	(国立新美術館) 過去3回で、合計300万人を超える入場者数を記録した日本テレビ主催の第4弾。風俗画とは、「日常生活をテーマにしている絵画」。フェルメールの《天文学者》が待望の初来日。